



うちのイチ押し!

2018

# 大阪市生涯学習ルームふえすていばる



## 『楽しく学んでつながろう!!』

大阪市では、市内の小学校の特別教室等を活用して、市民のみさんの文化・学習活動や講座等の開設を通じた学習機会の提供を図る「生涯学習ルーム事業」を実施しています。

各区による特色あふれる20以上の体験コーナーや、魅力いっぱいの作品の展示、見ていだけで楽しい手づくり市など、盛りだくさんな内容で、子どもから大人の方まで、どなたでも楽しめる内容となっています!

この機会にぜひ、生涯学習ルームの世界を満喫してください!!

### ..... 各区による体験・展示等 .....

#### ●体験コーナー

(折り紙、ストラップ作り、うで編み、絵手紙、オリジナル小物作り、ハーバリウム作り、けん玉体験、アロマ浴体験、ギター体験など)

#### ●作品展示、手づくり市

#### ●わんすてっぷ・フォーラム など

**日時** 平成30年10月28日(日)  
10:00~16:00

体験コーナー、作品展示等は10:10~

**会場** 大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル5階)  
(地下鉄御堂筋線「梅田」・四つ橋線「西梅田」・谷町線「東梅田」、  
JR「大阪」・JR東西線「北新地」、阪急・阪神「梅田」)

**費用** 無料(体験コーナー等は一部有料)

**主催** 大阪市生涯学習推進員協議会・大阪市教育委員会

**問合せ** ☎6539-3347(大阪市教育委員会事務局生涯学習担当)

体験コーナーの写真(イメージ)※数に限りがあります。一部変更になる場合があります。

## おおさか歴史探訪 128

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### ヘディンが見た世界一巨大な四天王寺の釣鐘

以前、このコーナーで(『いちょう並木』平成29年2月発行)、四天王寺の巨大釣鐘について紹介しました。明治36(1903)年に铸造されたものですが、その大きさは計画書によると、高さ7.9m、周囲16.4m、重量158tで、当時世界最大と言われていたモスクワの「鐘の王様」をしのぐ、まさに「世界最大」である可能性がありました。

この釣鐘を铸造したのは当時わが国で最も実績のあった鋳物師でしたが、何分にも経験のない規模であったことから、本来、釣鐘の断面は同一水平面では同じ厚みにしなければならないのですが、それができていなかったという致命的な欠陥を抱えたものとなってしまいました。そのため、「撞き初め式」で鳴らされた以後は、昭和17(1942)年12月、戦時下の金属供出により取り外されるまで、二度と鳴らされることはありませんでした。

スウェン・ヘディン(1865~1952)はスウェーデンの地理学者で探検家です。何度も中央アジアを探検し、古代都市楼蘭の遺跡や「さまよえる湖」ロプノールを発見したことで有名です。明治41(1908)年12月に日本にもやって来ました。その時のエピソードが新聞に載っています。大阪に来た時に四天王寺を訪れ、「世界最大の鐘」に大変興味を示したとのこと。「事情があって」撞くことができないと説明されると、「金はいくらでも出すから是非とも大釣鐘を撞いてみたい。今がダメならいつ撞けるのか。その時もう一度日本にやってくる。」と興奮気味に語ったといひます。

釣鐘が巨大なら、これを釣る鐘楼も巨大で、わが国の鐘楼としては桁違いの大きさです。現在は周囲に壁を取り付け、お堂(「英霊堂」)として用いられていますが、その巨大な外観は中心伽藍の金堂をしのぐ大きさです。

11月23日にこの英霊堂を含めた四天王寺の見学会があります。応募方法は本誌13ページに掲載されています。秋の1日、四天王寺参りは如何でしょうか。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)